

平成２５年２月６日
東北電力株式会社

女川原子力発電所の状況について

1. 運転状況について

- (1) 1号機 第20回定期検査中
- (2) 2号機 第11回定期検査中
- (3) 3号機 第7回定期検査中

2. 各号機の報告について

(1) 1号機

1号機は平成23年9月10日より、第20回定期検査を実施しています。
今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象は以下のとおりです。

- a. 原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）羽根車接続部の指示模様について
- b. 残留熱除去系 A系第二注入隔離弁の浸食について

(2) 2号機

2号機は平成22年11月6日より、第11回定期検査を実施しています。
今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象はありませんでした。

(3) 3号機

3号機は平成23年9月10日より第7回定期検査を実施しています。
今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象は以下のとおりです。

- a. 燃料集合体第1スペーサ下部における異物の発見について

3. 地震および津波による発電所主要設備への軽微な被害の対応状況

東北地方太平洋沖地震における主要設備への軽微な被害として、平成24年12月末までに61件のうち57件が復旧しております。

4. 原子炉建屋ベント装置・水素検知器の設置について

シビアアクシデント対策のうち水素爆発防止対策として、原子炉建屋ベント装置^{※1}の設置工事を開始しました。

原子炉建屋ベント装置は、原子炉建屋内に滞留した水素をさらに迅速・確実に放出するためのものです。

また、同対策の水素検知器^{※2}の設置工事を開始しました。

水素検知器は、格納容器から漏洩した水素が原子炉建屋に蓄積した場合にその濃度を確認するためのものです。

原子炉建屋ベント装置および水素検知器ともに平成24年度内の完了を予定しております。

※1 原子炉建屋ベント装置について、平成24年11月に2号機、平成24年12月に3号機、平成25年1月に1号機の設置工事が着工。

※2 水素検知器について、平成24年11月に1号機、平成25年1月に2号機の設置工事が着工。

5. 当社原子力発電所における燃料集合体ウォータ・ロッドの曲がりに係る点検状況について（中間報告）

当社は、平成24年11月28日、東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所5号機において、使用済燃料プールに貯蔵されている燃料集合体のウォータ・ロッドに曲がり確認されたことを受け、原子力規制委員会より発出された指示文書「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所第5号機の燃料集合体ウォータ・ロッド^{*1}の曲がりについて（指示）」を受領しました。

当社は、本指示に基づき、点検等の状況を中間報告として取りまとめ、平成25年1月7日に同委員会へ報告しました。

点検等の状況は、以下のとおりです。

- 女川原子力発電所にある燃料集合体について、再使用チャンネルボックス^{*2}を装着した燃料集合体およびチャンネルボックスを脱着した履歴のある燃料集合体（以下、「当該の燃料集合体」という。）の体数等を確認した。（別表参照）
- 女川3号機の使用済燃料プールに貯蔵されている当該の燃料集合体102体のうち9体について抜き取りによる外観点検を実施し、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認した。
- 女川3号機において、当該の燃料集合体102体のうち今後原子炉内に装荷を予定している5体の外観点検を実施し、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認した。

なお、今後も女川1号機、女川2号機について、本件に係る点検等を計画的に実施してまいります。

※1 燃料集合体の中央部に燃料棒と並行して設けられている中空の管で、内部に冷却材を通すことにより燃料集合体内部の出力の最適化を図るもの。

※2 原子炉内において使用実績のあるチャンネルボックスを、別の新燃料に取り付けし、再び原子炉内で使用したもの。チャンネルボックスは、燃料集合体を覆っている四角い筒状のもので、燃料集合体内の冷却材流路を確保するとともに制御棒のガイド等の機能を持つ。東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所5号機において、再使用チャンネルボックスを燃料集合体に取り付ける際、燃料集合体に過大な荷重を加えたことでウォータ・ロッドの曲がりが発生した可能性が大きい旨が、原子力規制委員会へ報告されている。

別表：再使用チャンネルボックスを装着した燃料集合体およびチャンネルボックスを脱着した履歴のある燃料集合体の体数

	再使用チャンネルボックス装着		チャンネルボックス脱着履歴あり	
	原子炉内	使用済燃料プール	原子炉内	使用済燃料プール
女川1号機	0体	69体 ^注	4体	100体 ^注
女川2号機	全燃料取出済	88体	全燃料取出済	105体
女川3号機	全燃料取出済	0体	全燃料取出済	102体
(参考)東通1号機	0体	0体	7体	23体

注：女川2号機または女川3号機に号機間移送した燃料集合体を含む。

以上